

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3086603号
(U3086603)

(45) 発行日 平成14年6月28日 (2002. 6. 28)

(24) 登録日 平成14年4月3日 (2002. 4. 3)

(51) IntCl.

H01R 12/04
33/76

識別番号

504

FI

H01R 33/76
9/09504Z
D

評価書の請求 未請求 請求項の数18 書面 (全 8 頁)

(21) 出願番号 実願2001-8118(U2001-8118)

(22) 出願日 平成13年11月9日 (2001. 11. 9)

(73) 実用新案権者 500080546

鴻海精密工業股▲ふん▼有限公司
台湾台北縣土城市自由街2號

(72) 考案者 デビッド グレック ハウエル

アメリカ合衆国 カリフォルニア州95050
サン タクラウ市1650メモレクスドライブ

(72) 考案者 林 有旭

アメリカ合衆国 カリフォルニア州95050
サン タクラウ市1650メモレクスドライブ

(72) 考案者 孫 楓倫

アメリカ合衆国 カリフォルニア州95050
サン タクラウ市1650メモレクスドライブ

(74) 代理人 301032719

フォックスコン・ジャパン株式会社

(54) 【考案の名称】 高密度レセプタクルコネクタ

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 高密度レセプタクルコネクタを提供し、その側壁にサイド端子を設置することにより、コネクタの全体大きさが低減できるとともに、回路基板を占めるスペースもさらに低減するようにならしめる。

【解決手段】 高密度レセプタクルコネクタ1はベース10及び複数辺縁端子20を含む。前記ベースは底板100と、底板の相対両側から上方へ延伸するダブル側壁101とを含む。底板に複数導電端子が置く複数端子チャンネル102を開設する。底板の中央部分に収納室104を設ける。前記辺縁端子はベース10の側壁101に組みつけられる。前記収納室に収納する集電回路プレートモジュールの信号は回路板まで伝送でき、または接地できる。したがって、収納室中のプレートモジュールの寸法が減少でき、さらに高密度レセプタクルコネクタの体積も減少できる。

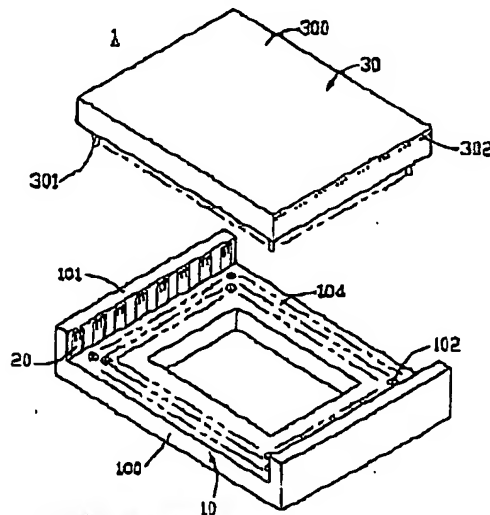


FIG. 1